

平成28年度 第7回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成29年3月21日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名  
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、  
分館担当係長 7名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 平成28年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・・・ 資料1  
(2) 平成28年度小平市公民館まつり開催報告・・・・・・・・・・ 資料2  
(3) 公民館事業企画委員会委員一覧・・・・・・・・・・ 資料3  
(4) 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・・・・・・・・ 資料4  
(5) 東京都公民館連絡協議会 委員会部会 報告・・・・・・・・・・ 資料5  
(6) 平成29年度小平市公民館事業計画(案)・・・・・・・・・・ 資料6  
(7) 第53回東京都公民館研究大会報告書・・・・・・・・・・ 資料7  
(8) 平成29年度小平市公民館運営審議会計画表(予定)・・・・・・・・・・ 資料8  
(9) 平成28年度第6回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・・・・・・・ 資料9  
  
・生涯学習支援ネットワークの構築に向けて  
・第34回小平市中学校生徒意見発表会 発表文集
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 公民館定期講座実施状況について  
(3) 公民館まつり開催報告について  
(4) 公民館事業企画委員会等について  
①上水南、津田、大沼公民館の開催状況  
②鈴木、小川公民館の開催状況  
③分館他館の設置に向けた進捗状況  
④中央公民館の設置に向けた検討内容  
(5) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員会部会報告について  
(6) 平成29年度 小平市公民館事業計画(案)について  
(7) その他

## 会議の概要

### 1 館長報告

#### (1) 3月市議会定例会について

##### ①公民館に関連した一般質問について

- ・「平和と人権を小平で守るために」において

(答弁) 社会教育法に則り、憲法や人権なども含む講座等の実施による多様な学習機会の提供に努めるとともに、市民の皆様の自主的、自発的な学習活動を支援している。今後も引き続き、これらの事業を通じて、市民の皆様に学び語り合う場を提供していく。

##### ②予算特別委員会について

- ・平成29年度公民館での主な事業

鈴木公民館、小川公民館：地域住民の意向を反映した企画講座の実施

津田公民館：30周年記念講演会

中央公民館：耐震補強工事

- ・平成29年度公民館の予算の概要

歳入…3,795,000円（前年度比▲251,000円）

歳出…415,706,000円（前年度比▲7,645,000円）

歳出の減の主な理由は、花小金井南公民館及び上水南公民館の耐震診断に係る委託料、燃料費、高熱水費の単価の下落等による需用費である。

- ・予算特別委員会

3月7日～10日に平成29年度予算案を審査する予算特別委員会が開かれ、賛成多数で採択された。

#### (2) 花小金井南公民館及び上水南公民館の耐震診断結果

耐震診断の結果、上水南、花小金井南公民館のいずれも、震度6の地震を想定した場合の安全性の基準値であるI s値0.6以上であるため、所要の耐震性能を有しており、耐震改修をする必要はない。

### 2 公民館定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。

#### (質疑応答)

委員 中央公民館の市民講座「障がいのある人が暮らしやすいまちづくり 知的障がいのある方への支援」で、受講者は講座終了後引き続きボランティアに移行する人はいるのか。

- 事務局 この講座から直接ボランティアに繋がった人はまだいないが、今後、ボランティア登録予定の人は数人いる。継続して開催していくことで裾野を広げていきたいと考えている。
- 会長 障がい者を対象とした「けやき青年教室」を支えるボランティアの人数が足りないことから、この講座を通してボランティアに繋げるという目的も兼ねているのか。
- 事務局 現在「けやき青年教室」に携わっているボランティアの方のスキルアップと、この講座を通してボランティアに繋がりたいということが目的である。今年度の「シルバー大学」の卒業生の方に、けやき青年教室のボランティアに携わっていただいたこともあり、ボランティアについては若干増えてきている。
- 委員 その講座と地域連携講座「みんなの意見を活かし合える場をつくる」の講座の受講者の参加の動機は分かるか。
- 事務局 市民講座については、障がいのある方と接する際の配慮のポイントや知的障がいのある方の特性などを学んでみたいという方が多かった。また、地域連携講座については、グループの話し合いの時に、進行をうまく進めるコツや、多様な意見を尊重しながら会議をまとめる方法を知りたいなどの参加動機があった。
- 委員 中央公民館のジュニア科学研究室（前期・後期）は非常に応募数も多く、受講できない方も多かったが、今後についてはどう考えているか。
- 事務局 ジュニア科学研究室については、人気が高い講座であり、テーマは未定だが、来年度も引き続き実施していくことを考えている。
- 委員 ジュニア科学研究室の応募状況だが、前期と後期で応募状況に随分差があるのはなぜか。
- 事務局 前期の対象が高学年、後期の対象が低学年となっている。保護者が応募することが多いため、低学年対象の後期の応募者が多かったと思われる。
- 委員 応募者が定員を超えた場合、定員を超えて開催される場合があるが、定員の合理的な決め方はあるのか。
- 事務局 定員については、講座を実施する部屋の大きさや講師との打合せで妥当な定員を決定す

るが、応募が多かった場合はできるだけ多くの方に受講していただくために、講師と相談したうえで、可能な限り定員を増やすようにしている。

委 員 鈴木公民館は、今年度から事業企画委員会で企画した講座を実施しているが、会場設営や当日の運営、後片付けなどは、事業企画委員会の委員が運営しているのか。

分館長 事業企画委員会の委員は企画までで、当日の運営は職員と嘱託職員で運営している。当日出演のサークルなどと舞台づくりをしている。

委 員 運営までを担う事業企画実行委員会は、まだ組織されていないか。

分館長 まだ、組織されていないが、事業企画委員会の委員が数回手伝いに来てくれた。

委 員 平成28年度の講座が終了した時点でサークル化した講座はいくつあるか。

分館長 鈴木公民館では、「絵手紙講座」「地域に出張カフェするサークルづくり」「レッツバランスボール」の3つの講座からサークル化につながった。

分館長 花小金井北公民館では、「親子で楽しく3B体操」がサークル化し、現在、定期利用団体となっている。

分館長 津田公民館では、「ウォーキングを学び、多摩の歴史と自然を歩く」の講座からサークル化し、年に何回か会合する時のみ公民館を利用する一般団体となった。また、「みんなで踊ろう盆踊り」では、定期利用団体として月に1回の割合で利用している。

委 員 サークル化して、新しい利用者が増えたことで、公民館が活性化したような雰囲気はあるか。

分館長 今年度の鈴木公民館の事業は、日曜日開催を多くしたことにより、全く公民館を知らなかった方が足を運んできてくれた。利用者数にも反映され、約3,400人を超える増となっている。

委 員 「一般団体」と「定期利用団体」の違いを説明してほしい。

事務局 「定期利用団体」は、1つの分館に限って定期的に利用をする団体で、おおよそ3カ月前に部屋を予約できる。「一般団体」は2カ月前から抽選で部屋を予約することができ

る団体である。

委員 大沼公民館の場合、「一般団体」ではあるが、毎週同じ時間に活動しているサークルもある。「定期利用団体」は月に2～3回と利用制限されるので、活動日数が多いサークルは敢えて「一般団体」として活動している場合もある。そういうサークルにも利用者懇談会等に入ってほしいが、公民館まつりなどの役員は定期利用団体から選出されるため、避けられる傾向にある。しかし、「一般団体」でも、公民館まつりにはワークショップなどで参加している。

館長 「定期利用団体」の場合、公民館の各種事業に協力して頂き、一緒に取り組んでいる。公民館まつりの実行委員会や部屋割り調整会議では、サークルが一堂に会して横のつながりを持つ場となっている。

委員 花小金井北公民館の家庭教育講座がサークル化されたことは、素晴らしいことだと思う。親子での活動か。

分館長 もともとの講座は、親子で一緒に3B体操をやっていた。一般団体として親子でしばらく活動をしていたが、4月から定期利用団体となり、保育付サークルとして、子どもを保育に預けて親だけで活動する。

委員 公民館の活動として理想的な流れだと思う。いずれ利用者懇談会等に参加するかも知れないので、期待している。

### 3. 公民館まつり開催報告について

資料2について各館より報告した。

### 4. 事業企画委員会

資料3を参照

- (1) 上水南、津田、大沼公民館の開催状況
- (2) 鈴木、小川公民館の開催状況
- (3) 分館他館の設置に向けた進捗状況
- (4) 中央公民館の設置に向けた検討内容

各館から報告した。

(感想)

委員 上水南公民館は、シニアから若い層まで入っていて委員のバランスが良かった。

- 委員 大沼公民館は、自己紹介で好きなことを発表するという工夫があった。顔は知っていたがいろいろな特技や趣味があることが分かり、なごやかな雰囲気でもとても良かった。
- 会長 事業企画委員会がどのように運営されているかは、実際に見ると良く分かると思うので、審議会委員はぜひ傍聴に行つて欲しい。
- 委員 次回の審議会で、事業企画委員会の日程を教えてください。

(質疑応答)

- 委員 仲町公民館では、仲町共栄会が地元商店の関係者ということか。また、近隣の保育園の方がメンバーになる意味はお父さん、お母さん方に利用してもらいたいということか。
- 分館長 仲町共栄会についてはそのとおり。保育園についてもそのとおりで、身近な保育園のお父さん、お母さん方からご意見を伺い、受け取くなる講座として企画に反映していきたいと考えている。
- 委員 事業企画委員の一覧表を見ると、小学校・中学校・幼稚園など、地域の特性によつてうまく付き合っている公民館とそうでない公民館との差がでてるように感じる。教育委員会を通じて、公民館の事業企画委員会にバランスのとれるようなメンバー構成にできるよう学校関係に協力してもらえないか。
- 委員 小学校のコミュニティスクールが活発な地区は連携が取りやすいと思うが、活発でない地区に働きかけるのは難しいと思う。分館単独で声掛けをするのではなく、中央公民館も一緒に働き掛けをできないか。
- 事務局 分館単位で全て実施することは難しいと認識している。当初は、校長連絡会や民生児童委員の全体会で協力をお願いした。今後は、学校支援コーディネーター等へは分館から直接声掛けするとともに、中央公民館も一緒になって依頼をしていく。
- 委員 公民館運営審議会委員の中にも学校関係者や民生児童委員の方がいるので、PRしてもらうのはどうか。
- 委員 事業企画委員会には、自治会の方に多く参加してほしい。また、商工会にも呼び掛けてメンバーに入ってもらったらどうか。

委員 ほとんどの分館のまつりでは、近隣の学校の児童・生徒作品を出展するので、分館と学校のつながりで連携ができれば良い。また、会議開催時間の設定も調整が必要ではないか。

事務局 開催時間については、各分館と事業企画委員との間で決めている。

委員 事業企画委員会のメリット・デメリットをどのように考えているか。鈴木公民館では、日曜日に活動が多く分館長の負担が増えたことに比例して、入場者数が増えたメリットがあると思う。

館長 メリットとして、公民館の講座は今まで職員が中心となって企画してきたが、地域の方の様々な意見を適切に反映し、ふくらみのある地域のニーズに即した講座が企画されたことである。また、事業企画委員同士が横の繋がりを持つことができたこと、今まで自分達の団体や機関だけでは企画できなかったことが、公民館とタイアップすることで実現できたこともあげられる。

一方、鈴木公民館については、講座回数の増加や日曜開催の増加ということが職員の業務量の増につながっているという実態がある。時間外の勤務が増えているので、勤務の調整ができるのかどうか、また開催日の見直しを含めて今後の検討課題として認識している。

学校への働きかけだが、今は分館ごとに調整を進めている。館長の経験年数によって地域との関係性に違いがあるが、連携を密に図るためには、相手方の状況を把握しながらつながりの土台をしっかりと固めて進めていくことが重要であると認識している。

商工会への働きかけについては、今、いくつかの分館で進めている。ただし、商工会会員は個人事業主なので、事業企画委員会に参加する間の業務が止まってしまったり、店舗が不在になってしまうなどの状況が生じてしまうとの話があった。しかしながら、事業企画委員以外の形で貢献したいとの話しも伺っているので、間接的な関わりとしての協力依頼は、引き続きしていきたい。

委員 分館長は1人で事業企画委員会を運営しているのか。2人の嘱託は事業企画委員会にはどのように関わっているのか。

館長 事業企画委員会は、公民館全体で取り組んでいくものであり、分館長1人で運営するものではないと考えている。分館については3名で協力しながら実施していくもので、事業企画委員会の会議についても開催時間に応じて嘱託職員も携わってもらう。

委員 嘱託職員の任期について教えてほしい。

館 長 嘱託職員の任用は1年単位で2回まで更新できる。

委 員 事業企画委員会で嘱託職員が司会をすることも考えているか。

館 長 現状として、事業企画委員会の司会は委員長にお願いし、事業企画委員の主体性を尊重している。

委 員 国分寺市の公民館では、有資格者の嘱託職員を採用しているが小平市ではどうか。

館 長 現時点では、有資格者を採用する考えはない。

5. 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について  
資料4・5について報告した。

6. 平成29年度 小平市公民館事業計画（案）について  
資料6について説明した。

（質疑応答）

委 員 モデル分館2館の検証についてのスケジュールを示してほしい。

事 務 局 年度が終わった時点で、事業企画委員会について検証する。

委 員 検証についてはどのような資料になるのか。

事 務 局 どのような資料となるかは検討中で、5月を目途に検討結果を報告できればと考えている。

7. その他

（1）東京都公民館研究大会報告

会長より資料7について報告

（2）平成29年度審議会の予定について

資料8について説明した

（3）東京都公民館連絡協議会総会

4月19日（水）：館長、小川公民館長、会長、中村委員

（4）平成29年度東京都公民館連絡協議会運営委員：高橋委員



次回は4月25日 午前10時～ 中央公民館会議室